

はじめに

農業を取り巻く環境は大きく変化しており、試験研究機関に求められるニーズも多様化・複雑化しています。こうした状況に対応するため、農業技術センターでは、県内農業や県民への貢献度の高い研究機関をめざして、「省力安定生産,栽培システムの高度化,軽労働化,品種選定,食の安全」をキーワードに、農業技術等に関する試験研究・調査及び指導,農業に関する情報収集並びに技術支援及び技術研修を行っています。

また、平成 19 年度に発足した総合技術研究所の一員として、工業など他分野との融合的な研究にも積極的に取り組んでおり、新たな成果も生まれています。

ここに、平成 20 年度の研究成果を「普及に移し得る成果」、「技術指導に参考となる成果」及び「開発中の主要技術の紹介」に分けてとりまとめました。記載した内容は、技術の概要ですので、詳しい内容については担当研究部へ問い合わせさせていただくか、直接センターへお越しただいて意見交換などをお願いします。

開発した技術成果は、研究、普及及び現場の密接な連携により定着化を図る必要があります。新技術セミナーを開催して、迅速に情報伝達しているところです。

今後とも、広島県農業の活性化に向けて、様々な技術開発・課題解決に取り組んでまいりますので、皆様の御指導・御支援をよろしくお願いします。

平成 21 年 6 月

広島県立総合技術研究所農業技術センター

センター長 森本浩正